

合格体験記：田中莉紗子さん

2022 愛光学園高校卒業

2023 東京大学文科二類進学

(早稲田大学政治経済学部・慶応義塾大学経済学部・商学部・上智大学経済学部合格)

私は、現役時は東京大学理科一類を受験したが不合格、浪人するタイミングで文転し、今年東京大学文科二類に合格しました。

【高校生の時のこと】

なんとなく医学部志望でなんとなく理系に進みました。理系なら医学部にも行けるし、医学部が嫌になって工学部に行く場合も文系就職、理系就職両方できるし、と思い特に興味ある分野がはっきりしてない自分には潰しが効きそうな理系がいいなと思い、理系に進みました。それから、自分の適性・興味・医師という仕事の責任の重さを考え、そんなに正直医者になりたいと思っていない自分は医学部に行くべきでないと考え工学部志望にしました。そして、進学振り分けがあり専門分野について悩む余地がある東京大学理科一類を志望することに決めました。しかし、あまり受験勉強は上手くいきませんでした。勉強をサボっていたわけではないけれど、数学、物理がなかなか伸びませんでした。一方、英語、国語は取れていました。周りの東大理系志望は理系科目が楽しくてたまらない！という人も多かったのですが、私は数学がそんなに好きではなく物理は正直難しくて嫌だな、と思っていました。当時から私は、国語の勉強が好きだったし、勉強の気分転換には大河ドラマや歴史小説を楽しんでいました。同じ分野を志望しているはずの周囲との違いに戸惑い、うっすら自分の進路に違和感を持っていました。そして結局理科一類に不合格となりました。成績開示でも英語と国語はよかったけれど、物理と数学が全然取れていませんでした。模試ではちょこちょこ意外と判定取れるなと思ったこともありましたが、東大教授により丁寧に作り込まれた数学や理科の入試問題には歯が立たず、不合格は覚悟していたもののやはりショックでした。

【文転を決意するまで】

勉強は頑張ったのに合格最低点から大きく離され不合格となり、絶望していました。入試問題が難しかったとはいえ、6月や8月の模試よりひどい素点を取ってしまい、一年あんなに頑張ったのにこんなに悪いだなんて、もう一年やったからって東大理系に受かるのだろうか、無理ではないか、と考えお先真っ暗でした。そしてパスカル数理解ゼミの渡辺先生にどうしようと相談したら、文転しての東大受験を進められました。文転は頭の片隅にもなかったのが驚きましたが、「自分が勉強していて元気が出て楽

しいと思う分野の方がだいぶ伸びるし、仕事も楽しめると思う」との先生の言葉を信じて文転することになりました。

【浪人の間の1年間】

私は宅浪で、予備校の映像授業も利用しつつ学習を進めました。まず、予備校の授業を取りつつの宅浪は周囲に言われるほど悪くないと思います。授業に追われて自習時間が不足してしまうという問題は解決でき、自分にピッタリの教科ごとの時間配分で学習できます。ただ、激しい孤独感を感じ落ち込むこともあったので、人とワイワイ関わりたいタイプの人には向いていないかもしれません。帰省した友達と遊ぶなど、遊びの時間も確保し、病んでしまわないようにするのが大事です。宅浪生活では、毎週通っていたパスカルの渡辺先生が勉強面だけでなく、精神的にも支えになりました。

【勉強方法について】

数英社の勉強方法について記していきます。

〈数学〉

文転してからについてのみ、記します。東大の過去問10年分と『東大数学で一点でも多く取る方法』という参考書を解き、わからないところは渡辺先生に質問しました。理系の時は数学に苦手意識がありましたが、文転してからはとっつきやすい問題が増え、高い偏差値も出始め、苦手意識は無くなりました。「とにかくたくさん問題を解く。しかし、ほとんど考えず、すぐに投げ出して解答を見たりしない」というのを心がけてください。高校生の皆さんはテスト週間の間だけでいいので真剣に定期考査の勉強をすれば、数学の演習量は自然に増えると思います。また、すぐ投げ出すのは私の悪い癖で、渡辺先生にも何度も、考えるのが大事！と言われました。結局解けなかったとしても、解こうと試行錯誤することで学力は上がると思います。また、国立志望で私大を併願することを考えている方は数学を得意にしておくのが有利です。実際私は、数学受験のできる私立文系の受験では、すべて社会受験でなく数学受験を選択しました。

〈英語〉

単語はターゲットだけで十分です。私は文転してから他の受験生追いつくのに必死で、社会ばかりして、英語に触れない時期が続いたことがありました。すると成績はガクッと落ちてしまい、元に戻すのに意外と時間がかかりました。毎日英語長文には触れた方がいいです。

〈社会〉

主に東大対策について記していきます。

○日本史

大河ドラマや歴史小説が好きで日本史は楽しいという認識がありました。一部の時代しか詳しくはありませんでしたが、楽しんで日本史の勉強をしたため、勉強が苦しいとは思いませんでした。未修だったので東進の金谷先生の講座で通史をし、受講が終わった5月上旬には簡単だった年の共通テストの過去問で9割取れるようになりました。物理とは全く伸びる速さが違い、それから過去問添削講座で添削を受けました。共通テストで8割取れれば東大日本史は知識の面では問題ありません。しかし、限られた文字数で自分はちゃんと日本史を理解していると示せる答案を作るには、添削を受けて洗練された記述を書けるようにするのが不可欠だと思います。共通テストで8割取れるようになったら、恐れず過去問に移ってください。高校生は学校の先生に添削をお願いしましょう！

○地理

理系の時は共通テストでしか使わないし配点も低いからとあまり勉強していませんでした。文転してからは村瀬先生の参考書を読み、高校で配られたウィニングコンパスを解き、共通テストで7~8割取れる力をつけて東大の過去問に移りました。地理は時事問題に興味あるかどうかも問われている気がするのと、日本地理が出るので中学受験をした人には多少有利かもしれません。また、東大地理は記号問題もあり、日本史よりも共通テストと二次試験の関連が強いと思うので、共通テスト(センター試験)の過去問も10年分解くのをおすすめします。

【合格してからのこと】

やりたいことが定まってない私は、進学振り分け制度のある東大に非常に魅力を感じていました。ですので、合格がわかった瞬間は本当に嬉しかったです。それから、すぐに渡辺先生に報告しました。合格を喜んでもらえて本当に嬉しかったです。私は理系分野だと、うっすらですが、都市工学、農学(品種改良等)に興味があり、文系分野だと経済学(金融工学)や日本史の研究に興味があります。大学の前期教養期間では様々な学問に触れ、勉強以外でも色々な経験をして、自分が本当に興味のある分野は何か模索し、その道に進みたいです。文転の経験を経て、自分が楽しいと思える分野で伸び伸びするのがいいと実感しました。大学生活本当に楽しみです！！

【最後に】

現役時も浪人時も、ずっと数学の勉強を教えるだけでなく励まして支えてくれた渡辺先生には感謝でいっぱいです。不安なときは毎回先生に相談していました。たくさん

生徒を見てきたからこそできるアドバイスをたくさんいただきました。また、先生と雑談するのもいい気分転換になり、孤独な浪人生活の辛さが紛れました。本当にありがとうございました。パスカル数理ゼミの生徒の皆さんには、文理関係なく、自分が本当に楽しい！と思う分野に進んでもらいたいです。なんだかんだで“好きこそものの上手なれ”は正しいと思います。応援しています！